第５回　地区別懇談会【③麓・老神地区】

日時：令和3年9月16日（木）18:30～

場所：人吉東小学校体育館

次 第

１．開会挨拶

２．地区の復興まちづくりに向けての参考資料の説明

（１）地区別懇談会の振り返りと情報提供【資料１】【資料2】

（２）懇談会意見を踏まえた復興まちづくりの方向（更新案）について

①復興まちづくりの方向とイメージ案（前回意見を踏まえた更新案）【資料3】

３．地区ごとの話し合い

（１）復興まちづくりの具体的イメージや手法案について

〇若手の会からの意見も踏まえた取組み方針、具体の取組み、イメージの更新案について、問題はないか？

〇大橋沿線のイメージを検討する。

〇まちのコンセプトを考える。

（２）今後の進め方、次回日程の調整、連絡体制の確認について

４．全体共有

５．その他

６．閉会挨拶

【資料】

・資料１：地区別懇談会だより第２号

・資料２：地区別懇談会中間報告会まとめ

・資料３：復興まちづくりの方向とイメージ（更新案）

資料１

【麓老神地区】『復興まちづくり計画（たたき台）』について②

※これまでの地区別懇談会の意見を踏まえた、復興まちづくりのイメージ（案）です。具体の取組み内容は、決定事ではなく今後の関係者調整含めた具体化への精査・検討が必要です。
黄色網掛け箇所が第４回地区別懇談会の参加者の主な意見です（決まった内容や事実確認をした内容ではありません）。



麓・老神地区の若手との意見交換会

８月５日に地区別懇談会の場とは別に（地区別懇談会に日程が合わない等の理由で参加が難しい方等）、麓・老神地区の若手の皆様に集まっていただき、意見交換をさせていただきました。会では、集まってくださった皆様から、令和２年７月豪雨当日の地区の状況についてお話をしていただき、その上で新たな避難場所候補や減災に向けたハード面の改善について意見やアイデアをいただきました。意見交換を行う場を、復興まちづくり計画を策定するまで引き続き持ちたいと考えております。

その場でいただいた意見等について、今回の「地区別懇談会だより」には掲載していません。次回地区別懇談会の中で、皆様と、若手の皆様にいただいた意見も踏まえて意見交換を出来ればと考えております。

◇お問い合わせ◇

人吉市役所 復興局 復興支援課
〒868-8601 熊本県人吉市下城本町 1578-1
Tel:0966-22-2111(内線：8893) Fax:0966-24-7869
E-mail:fukkousien@hitoyoshi.kumamoto.jp

これらに関する情報は、市ホームページにも掲載しています。ホームページをご覧になれない人はお問い合わせください。

地区別懇談会だより Vol.3 麓老神地区

～みんなで取り組む、人吉市の復興まちづくり～

『地区別懇談会（第４回）』を開催しました

甚大な被害や治水対策による影響が大きいなど、**地区でまとまって問題解決に取り組む必要性の高い地区を「重点地区」**として位置づけ、それぞれの地区ごとに**「地区別懇談会」**で話し合いを進めています。
麓老神地区の対象地区は、麓町、老神町、新町、田町、南寺町です。

◆第４回地区別懇談会
１ 治水対策に関する国・県からの説明
２ 地区の復興まちづくりに向けての参考資料の説明
・地区別懇談会の振り返りと情報提供
・懇談会意見を踏まえた復興まちづくりの方向案（修正案）について
３ 地区ごとの話し合いと全体共有
・復興まちづくりの具体的な取組み方向案について
４ 今後の進め方について




７月 26 日（月）18 時から、人吉東小学校体育館で開催しました。
（参加人数：37 名 ※中心街地区と合同開催）

復興まちづくり計画の策定に向けて

地区別懇談会での検討をもとに、10 月頃を目途に具体的な復興まちづくりの取組をまとめた**「復興まちづくり計画」**を策定します。

◆地区別懇談会の参加方法
・対象地区にお住まいの方や勤務されている方など、どなたでも参加できます。
※可能な範囲で、継続的な話し合いに参加いただきます。
・参加申込は随時受け付けておりますので、本紙面末尾の復興支援課までお問合せください。
多くの方のご参加をお待ちしております。

参加募集中



◆地区別懇談会の進め方
次回の開催予定：**第５回 ９月 16 日（木）18 時 30 分より**
次回のテーマ予定：復興まちづくり計画計画（素案）について
会場：人吉東小学校体育館
（注）地区別懇談会については、新型コロナウィルス感染症の状況等で、変更する場合があります。

◇復興まちづくり計画とは
・復興計画を実現するために取り組むべき内容を示すものです。
・特に被害の大きい特定地域（重点地区）などを対象に、各地域の具体的な計画づくりを行います。
・住民主役の計画づくりに対して、行政が支援し、計画策定をめざします。
・計画期間は、令和４～9 年度の概ね６年間。（令和３年度からの一部実施も想定）
・本計画に基づき、関係者調整含めた精査や具体化検討を進め、段階的な実現をめざします。

【麓老神地区】これまでの地区別懇談会意見を踏まえた『復興まちづくり計画（たたき台）』について①

麓老神地区は、球磨川と胸川の合流点に位置し、胸川の氾濫も想定されることから「胸川」の東岸と西岸で「安全な避難」を実現するために必要となる取組と、人吉城址を中心としたまちづくりに向けての検討を進めています。

※これまでの地区別懇談会の意見を踏まえた、復興まちづくり計画(案)です。具体の取組み(案)は、決定事項ではなく今後の関係者調整含めた具体化への精査・検討が必要です。黄色網掛け箇所が第４回地区別懇談会の参加者の主な意見です（決まった内容や事実確認をした内容ではありません）。

取組みの柱	地区の主な課題 （地区の復興まちづくりに向けた主な課題）	取組み方針 （課題解決のための取組み方針）	具体の取組み（案） ※実現化に向け、今後検討が必要
①被災者のくらし再建とコミュニティの再生 【住まい再建】 【コミュニティ再生】	**□浸水した家屋の片付け（公費解体）** ・公費解体の順番待ちの状況。 ・地区内で被害の大きかった新町の今後が心配。 **□地域の高齢化、及び空洞化** ・高齢者が増え、住民同士の付き合いが減っている。 ・若い世代の住民が減少（南町） ・空き家が増加 ・田町に旧商店街の古い町並みが残っているものの、空き家が多い。	**□コミュニティの再生** ・若い世代をはじめとした新住民の受け入れ。 ・マンション居住者の共益費に区費を含める。 ※法的な確認は必要 ・田町に残っている旧商店街の古い町並みの活用。	**□コミュニティの再生** ・古民家をリノベーションして、若い世代の入居・転入促進 ・南寺町・新町の町内の統合を検討 ・麓町・南寺町の交流促進 ・新市役所庁舎周辺のまちづくりの検討
②力強い地域経済の再生 【生業再建】	**□人吉城址周辺の活性化** ・城址、人吉城歴史資料館の使い勝手が悪い。 ・人吉の歴史を市民・観光客が学ぶ場所が必要。	**□人吉城址周辺の活性化** ・城址公園をイベント会場などに活用。 ・歴史資料館収蔵品を浸からない場所への移動した上で保存。	**□人吉城址周辺の活性化** ・歴史資料館を観光情報センターとして再利用 ・城址公園（人吉市役所跡地、含）の整備及び利用促進 ※市役所跡地の活用方法の早期の検討・実施 ・歴史館の入場料無料化（市民のみ対象/歴史を知る機会の増加） ・タブレット端末等（再現 CG）を使った散策（IT の活用） ・レストラン・茶屋など休める空間の整備 ・観光の核として老神神社の活用促進
③災害に負けないまちづくり 【避難対策】	**□安全な避難場所・避難ルートの確保** ・指定避難所の保健センターまでの道が狭く、胸川沿いに立地しているため危険。 ・胸川東側の地区は橋を渡るのが危険。東側で避難所の確保が必要。 ・新町町内会館が浸水した。今後避難所として利用できない。 **□避難誘導体制の確保** ・発災状況の確認が遅れて逃げ遅れが発生。 ・町内会長だけが住民の避難誘導の役割を担うのは負担が大きい。 ・防災に関わる町内会長の業務引継ぎが不十分。 ・高齢者の逃げる手段、見守りの体制が十分にない。	**□安全な避難場所・避難ルートの確保** ・胸川西岸は第一中学校を避難所として利用する（将来的に新庁舎、医療センターや裁判所の垂直避難）。 ・胸川東側は相良神社、林鹿寺、東林寺を避難所として利用する ・麓地区の公民館設置の検討（管理等が大変なので設置しない方向/相良神社の活用） **□避難誘導体制の確保** ・町会長の負担を軽減・分散する ・町会長の引継ぎ時に、消防団が同席する等して防災の業務引継ぎを強化。 ・市の出前講座を活用した防災への認識・体制を強化。	**□安全な避難場所・避難ルートの確保・確認** ・【胸川西岸】第一中学校、別館保健センターを指定避難所に指定済み。 ・【胸川東側】相良神社、林鹿寺、東林寺の自主避難所として覚書締結。 ※林鹿寺は麓町・田町の自主避難所に指定済み ・民間地の避難所利用に関わる覚書等の締結(必要に応じて行政支援） ・災害時・避難時用の駐車場の整備・確保 **□地域性を踏まえた防災マップの作成** ・防災まち歩きによる、危険個所の確認。及び各町内の詳細な防災マップの作成 ・高齢者・要支援者の連絡網・マップの作成。 **□防災拠点等の整備** ・人吉医療センター、新市役所庁舎を防災拠点として指定 ・老神排水樋門の機能改善
	□町内の共助の確保 ・過去も浸水した記録がないので、自主防災組織を立ち上げていない。 ・災害発生時、世帯で電気・水道の有無が分かれた。	**□町内の共助の確保** ・隣接する町内会と共同で自主防災組織の立ち上げ、及び活動の充実化。 ・町内住民の互助体制を構築。	**□防災意識の醸成、体制の強化** ・自主防災組織の立ち上げ、地区防災計画の策定（役割の分散化　他） ・実践的な避難訓練の実施。 ・災害時の女性部の活動強化 ・災害時の住民間の支援体制の構築
	□早期の避難情報の発信 ・避難情報が聞き取り難い。	**□早期の避難情報の発信** ・携帯電話/エリアメールを使った早期避難情報の発信。 ・行政・消防による「空振り覚悟」の避難情報を発信。	**□情報発信機能の強化** ・各世帯への戸別受信機の配布（市より、６月から順次配布）。 ・支流（胸川　他）の出水状況をきめ細かく情報提供する機能の強化。
【治水・土砂災害対策】 【復興まちづくり】	**□本川と支川の合流部の氾濫** ・胸川から本川に流れ込みづらい。バックウォーターの発生。	**□流域治水プロジェクトによる本川・支川の水位の低下**	**□流域治水プロジェクトによる本川・支川の水位の低下** ・流水型ダム整備、市房ダム再開発、河道掘削、遊水地整備等

資料4

麓･老神地区　復興まちづくり計画（案）【方針･取組み】

地区の将来像：歴史と出逢い、ひとと出逢い、育むまち

※これまでの地区別懇談会の意見を踏まえた、復興まちづくり計画(案)です。具体の取組み(案)は、決定事項ではなく今後の関係者調整含めた具体化への精査･検討が必要です。黄色網掛け箇所が第4回地区別懇談会の参加者の主な意見です（決まった内容や事実確認をした内容ではありません）。

取組みの柱	地区の主な課題 （地区の復興まちづくりに向けた主な課題）	取組み方針 （課題解決のための取組み方針）	具体の取組み（案） ※実現化に向け、今後検討が必要
①被災者のくらし再建とコミュニティの再生 【住まい再建】 【コミュニティ再生】	**□浸水した家屋の片付け（公費解体）** ・公費解体の順番待ちの状況。 ・地区内で被害の大きかった新町の今後が心配。 ・田町・麓町が浸水被害を受けた。家屋の解体、移転の見通し。 **□地域の高齢化、及び空洞化** ・高齢者が増え、住民同士の付き合いが減っている。 ・若い世代の住民が減少 ・空き家が増加 ・田町に旧商店街の古い町並みが残っているものの、空き家が多い。 ・城南家畜保健衛生所前の通りに空き地が増えた。 ・新町の昼間人口が極端に多いエリアである（医療センター、新市役所）。 ・人吉医療センター及び新市役所職員向けの駐車場が大幅に不足する。（約500台分が不足）	**□コミュニティの再生** ・若い世代をはじめとした新住民の受け入れ。 ・マンション居住者への町内会加入に関する呼びかけ強化。 ・田町に残っている旧商店街の古い町並みの活用。 ・人吉医療センター及び新市役所職員向けの駐車場の確保。（現在、医療センター周辺の空き地を月極め駐車場として貸している地権者が増加） **□人吉城址周辺の活性化** ・親子・高齢者が集う場にする。	**□コミュニティの再生** ・古民家をリノベーションして、若い世代の入居・転入促進 ・南寺町・新町の町内の統合を検討 ・麓町・南寺町の交流促進 ・新市役所庁舎周辺のまちづくりの検討 ・人吉橋沿線上の飲食店の出店促進（就業者、ファミリー向け） ・大橋と水の手橋間の夜のそぞろ歩きの出来る空間整備 ・城南家畜保健衛生所に立体駐車場の整備（イベント、災害時、日常使い用） **□人吉城址周辺の活性化（人吉ひかりの復興計画）** ・城址内の街灯の整備（ウォーキング他） ・ふるさと歴史の広場の街灯の再整備 ・市役所跡地の駐車場利用 **□中川原公園の再利用** ・ 中高生、週末のファミリー層が集う場所としての中川原公園の整備（歴史資料館から川を渡る道の整備、公園内の再整備）
②力強い地域経済の再生 【生業再建】	**□人吉城址周辺の活性化** ・城址、人吉城歴史資料館の使い勝手が悪い。 ・人吉の歴史を市民・観光客が学ぶ場所が必要。	**□人吉城址周辺の活性化** ・城址公園をイベント会場などに活用。 ・歴史資料館収蔵品を浸からない場所への移動した上で保存。	**□人吉城址周辺の活性化** ・歴史資料館の再整備（観光情報センター、カフェ） ・ふるさと歴史の広場の川と親しむ場としての整備（人吉市役所跡地の駐車場利用、イベント会場、レストラン・カフェ、城壁下の散策道整備） ・・城址公園（含）の整備及び利用促進（二ノ丸等のイベント会場としての利用促進、取付道路の整備、キャンプ場） ・歴史館の入場料無料化（市民のみ対象/歴史を知る機会の増加） ・タブレット端末等（再現CG）を使った散策（ITの活用） ・レストラン・茶屋など休める空間の整備 ・観光の核として老神神社の活用促進

注）前回地区別懇談会の意見　若手の会のアイデア

資料4

麓･老神地区　復興まちづくり計画（案）【方針･取組み】

※これまでの地区別懇談会の意見を踏まえた、復興まちづくり計画(案)です。具体の取組み(案)は、決定事項ではなく今後の関係者調整含めた具体化への精査･検討が必要です。黄色網掛け箇所が第4回地区別懇談会の参加者の主な意見です（決まった内容や事実確認をした内容ではありません）。

③災害に負けないまちづくり 【避難対策】	**□安全な避難場所・避難ルートの確保** ・指定避難所の保健センターまでの道が狭く、胸川沿いに立地しているため危険。 ・胸川東側の地区は橋を渡るのが危険。東側で避難所の確保が必要。 ・新町町内会館が浸水した。今後避難所として利用できない。 ・胸川は７時頃から越水した。 **□避難誘導体制の確保** ・発災状況の確認が遅れて逃げ遅れが発生。 ・町内会長だけが住民の避難誘導の役割を担うのは負担が大きい。 ・防災に関わる町内会長の業務引継ぎが不十分。 ・高齢者の逃げる手段、見守りの体制が十分にない。 ・排水樋門の管理者が町内に状況を伝える仕組みはない。 ・排水ポンプだけでは排水しきれなかった。 **□早期の避難情報の発信** ・避難情報が聞き取り難い。 ・午前４時の段階で消防団が避難を呼びかけた。 ・市房ダムの緊急放流の情報が流れて避難のスイッチが入った。	**□安全な避難場所・避難ルートの確保** ・胸川西岸は第一中学校を避難所として利用する（将来的に新庁舎、医療センターや裁判所の垂直避難）。 ・胸川東側は相良神社、林鹿寺、東林寺を避難所として利用する ・麓地区の公民館設置の検討（管理等が大変なので設置しない方向/相良神社の活用） **□避難誘導体制の確保** ・町会長の負担を軽減・分散する ・町会長の引継ぎ時に、消防団が同席する等して防災の業務引継ぎを強化。 ・市の出前講座を活用した防災への認識･体制を強化。 **□早期の避難情報の発信** ・携帯電話/エリアメールを使った早期避難情報の発信。 ・行政･消防による「空振り覚悟」の避難情報を発信。	**□安全な避難場所・避難ルートの確保・確認** ・【胸川西岸】第一中学校、別館保健センターを指定避難所に指定済み。 ・【胸川西岸】新庁舎の１階～2階は一時避難所として利用可能になる予定。 ・【胸川東側】相良神社、林鹿寺、東林寺の自主避難所として覚書締結。二ノ丸、三ノ丸を徒歩避難所として利用。 ※林鹿寺は麓町・田町の自主避難所に指定済み ・民間地の避難所利用に関わる覚書等の締結(必要に応じて行政支援) ・災害時・避難時用の駐車場の整備・確保 以下候補：永国寺、相良神社、球磨焼酎組合、原城奥、東間小学校、華の荘リゾートホテル、川上哲治記念球場、九州道（人吉IC～人吉スマートIC） **□地域性を踏まえた防災マップの作成** ・防災まち歩きによる、危険個所の確認。及び各町内の詳細な防災マップの作成 ・高齢者･要支援者の連絡網･マップの作成。 **□防災拠点等の整備** ・人吉医療センター、新市役所庁舎を防災拠点として指定 ・老神排水樋門の機能改善（二次放水路の整備） **□情報発信機能の強化** ・各世帯への戸別受信機の配布（市より、6月から順次配布）。 ・支流（胸川　他）の出水状況をきめ細かく情報提供する機能の強化。
【治水・土砂災害対策】 【復興まちづくり】	**□本川と支川の合流部の氾濫** ・胸川から本川に流れ込みづらい。バックウォーターの発生。	**□流域治水プロジェクトによる本川・支川の水位の低下**	**□流域治水プロジェクトによる本川・支川の水位の低下** ・流水型ダム整備、市房ダム再開発、河道掘削、遊水地整備等

注）　前回地区別懇談会の意見　　若手の会のアイデア

資料４

麓・老神地区　復興まちづくり計画（案）イメージ図①（地区懇談会+若手の会【避難・防災編】）

※これまでの地区別懇談会の意見を踏まえた、復興まちづくり計画(案)です。具体の取組み(案)は、決定事項ではなく今後の関係者調整含めた具体化への精査・検討が必要です。黄色網掛け箇所が第4回地区別懇談会の参加者の主な意見です（決まった内容や事実確認をした内容ではありません）。



道路の拡幅・整備
(崩落危険箇所)

樋門の排水機能の改善
（二次放水路の整備）

人吉医療センター
- 防災拠点としての機能充実

市役所新庁舎
- 総合防災拠点としての機能充実
- 新庁舎１階～2階を一時避難所として利用可能になる予定

避難時の駐車スペース（10台可能）



避難場所・避難所
- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 自主避難所
- 福祉避難所

道路幅員
- 15m以上
- 6m以上15m未満
- 4m以上6m未満
- 4m未満

土砂災害の危険区域
- 土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）
- 土砂災害警戒区域（イエローゾーン）
- 地すべり調査予定
- 急傾斜地調査予定
- 土石流調査予定

浸水想定区域
- 想定最大規模（L2）

その他
- 農用地区域

既存の避難所等
- 避難所等の候補
- 防災施設等の候補
- 災害時の駐車場の候補
- 避難路の候補
- 避難路

注）前回地区別懇談会の意見　若手の会のアイデア

資料４

麓・老神地区　復興まちづくり計画（案）②（地区懇談会+若手の会 【避難・防災編】）

※これまでの地区別懇談会の意見を踏まえた、復興まちづくり計画(案)です。具体の取組み(案)は、決定事項ではなく今後の関係者調整含めた具体化への精査・検討が必要です。黄色網掛け箇所が第4回地区別懇談会の参加者の主な意見です（決まった内容や事実確認をした内容ではありません）。

人吉球磨スマートIC～人吉ICの利用
※駐車スペースとしても利用

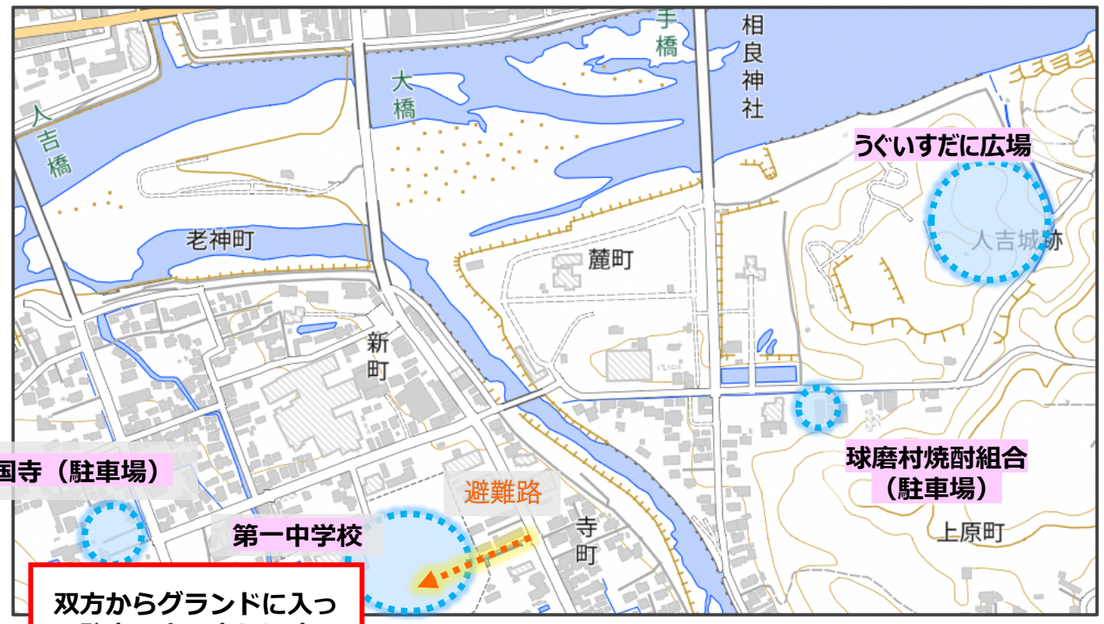
東間小学校

華の荘リゾートホテル

川上哲治記念球場



東間小学校周辺



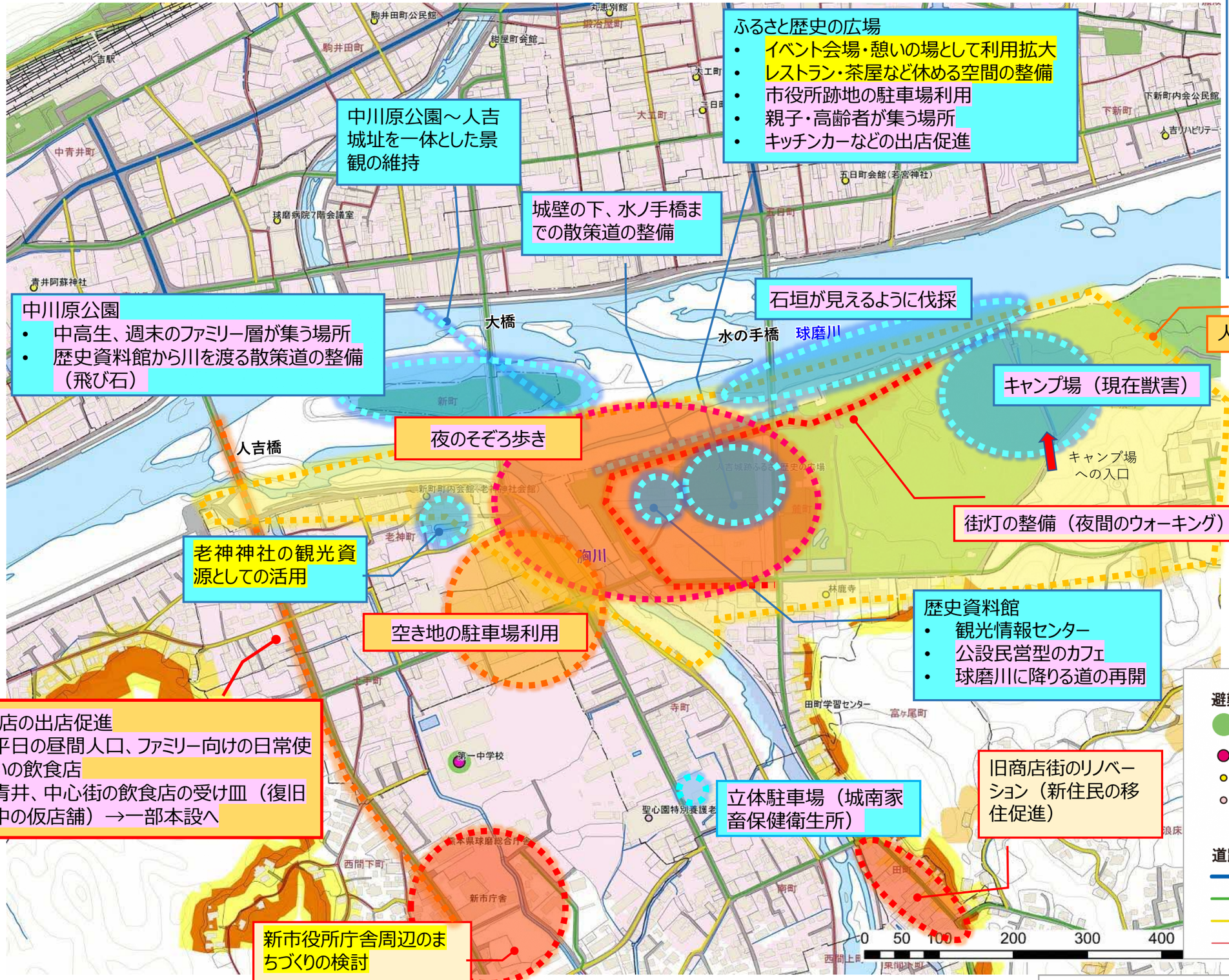
第一中学校周辺

注）前回地区別懇談会の意見　若手の会のアイデア

資料４

麓・老神地区　復興まちづくり計画（案）③　（地区懇談会+若手の会【コミュニティの再生編】）

※これまでの地区別懇談会の意見を踏まえた、復興まちづくり計画(案)です。具体の取組み(案)は、決定事項ではなく今後の関係者調整含めた具体化への精査・検討が必要です。黄色網掛け箇所が第4回地区別懇談会の参加者の主な意見です（決まった内容や事実確認をした内容ではありません）。



ふるさと歴史の広場
- イベント会場・憩いの場として利用拡大
- レストラン・茶屋など休める空間の整備
- 市役所跡地の駐車場利用
- 親子・高齢者が集う場所
- キッチンカーなどの出店促進

中川原公園～人吉城址を一体とした景観の維持

城壁の下、水ノ手橋までの散策道の整備

石垣が見えるように伐採

中川原公園
- 中高生、週末のファミリー層が集う場所
- 歴史資料館から川を渡る散策道の整備（飛び石）

人吉ひかりの復興計画

キャンプ場（現在獣害）

キャンプ場への入口

夜のそぞろ歩き

街灯の整備（夜間のウォーキング）

老神神社の観光資源としての活用

空き地の駐車場利用

歴史資料館
- 観光情報センター
- 公設民営型のカフェ
- 球磨川に降りる道の再開

飲食店の出店促進
- 平日の昼間人口、ファミリー向けの日常使いの飲食店
- 青井、中心街の飲食店の受け皿（復旧中の仮店舗）→一部本設へ

立体駐車場（城南家畜保健衛生所）

旧商店街のリノベーション（新住民の移住促進）

新市役所庁舎周辺のまちづくりの検討



相良700年の歴史と球磨川との共生を象徴する「人吉城」を中心にした誇りの醸成と交流の促進

コミュニティの再生

産業・就業の活性化（観光を除く）

観光・交流の促進

避難場所・避難所
- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 自主避難所
- 福祉避難所

土砂災害の危険区域
- 土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）
- 土砂災害警戒区域（イエローゾーン）
- 地すべり調査予定
- 急傾斜地調査予定
- 土石流調査予定

道路幅員
- 15m以上
- 6m以上15m未満
- 4m以上6m未満
- 4m未満

浸水想定区域
- 想定最大規模（L2）

その他
- 農用地区域

注）　前回地区別懇談会の意見　　若手の会のアイデア